

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|---------------|
| ○事業所名 | ダブルレインボー | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年 12月 19日 | | ～ 令和7年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 2月 1日 | | ～ 令和7年 2月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 2月 20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 子供たちの特性を理解したうえで、各職員がそれぞれの見識を持ち寄りながら、チームとして支援出来ていること。 | 支援して行く中で気になる事やわからないことがあったらその都度職員間で話し合い、その中でその時最良と思われる支援を行い、その結果をフィードバックするということを頻繁に行い、それをしっかり議事録として残している。 | 今後も同じように行っていくが、その話し合いの場にいなかった職員に対してもしっかり議事録を確認してもらい、さらに知見を加えることでよりよい方法が見いだせるようにしていく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 事業所周辺の住民や、保護者との交流や、保護者間の交流が希薄である。 | コロナ禍以降地域住民を対象とした行事は全く行われておらず、保護者会や、親子療育の開催頻度も減ってきている。企画力のある職員が少なくなってきた、日々の業務だけで手いっぱいになっているところが多い。 | 一人で計画して実行するのではなく、職員全員がチームとしてまとめ、中心に企画力がある人を据え、事前に何をどのタイミングで土のペースで行うかなどをみんなで考え、みんなで実行することができる文化にしていく必要がある。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |